

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	9月29日(水) ~30日(木)	秋のエキスカッション(関東支部共催)	山梨・静岡	9号2 参 照
	10月18日(月) ~19日(火)	耐震設計講習会	東 京	9号2 "
	10月20日(水) ~21日(木)	第8回地震工学研究発表会	土木学会	9号4 "
	10月26日(火)	国際水理学会第11回大会報告会	土木学会	9号5 "
	11月7日(日)	第2回衛生工学講演討論会	京都大学	9号3 "
	11月18日(木) ~19日(金)	第12回海岸工学講演会	名古屋市	9号3 "
	関 東 支 部	9月25日(土)	学生のための映画会	宇都宮市
10月12日(火) ~13日(水)		川俣ダム見学会	栃 木 県	9号5 "
10月16日(土)		学生のための映画会	甲 府 市	9号5 "
中 部 支 部	9月22日(水)	第1回技術講座	名古屋市	7号6 "
	10月22日(金)	第1回研究発表会	名古屋市	9号5 "
関 西 支 部	9月14日(火)	和歌山の開発についての講演会	和 歌 山 市	9号7 "
	10月13日(水)	ニュータウン建設と市街地再開発に関する講演会	大 阪 市	9号7 "
	10月26日(火) ~27日(水)	最近の鋼構造に関する講習会	大 阪 市	9号7 "
	11月14日(日)	支部年次学術講演会	京 都 大 学	8号7 "
そ の 他	9月24日(金)	日本工学会第14回見学会	川 崎 市	8号8 "
	9月25日(土)	日本工学会講演会	東 京	9号8 "
	10月18日(月) ~19日(火)	災害科学に関する第2回合同総合講演会	東 京	9号3 "
	10月28日(木) ~30日(土)	第14回レオロジー討論会	仙 台	6号83 "
	11月19日(金)	第12回風に関するシンポジウム	東 京	8号8 "
	11月26日(金)	第12回橋梁・構造工学研究発表会	東 京	8号8 "

お知らせ

- 土木学会誌広告料金の一部改訂について
- 第10回海岸工学国際会議論文募集
- 第3回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集
- 第10回水理講演会開催について
- 研究発表会・論文・報文募集(北海道支部)
- 第12回河内賞募集について
- 東洋レーヨン科学技術賞について
- 8学会互報欄

9号2 "
8号4 "
8号5 "
9号5 "
9号5 "
9号8 "
9号8 "
9号8 "

日本学術会議第7期会員選挙立候補者の推薦

本年11月25日に行なわれる標記の件につき、理事会において協議の結果、土木学会ではつぎの2名の方を推薦することになりましたのでお知らせ致します(50音順)。

(全国区第5部 土木工学)

石 原 藤 次 郎 君 昭和5年京都大学卒 工学博士
京都大学教授 専攻 河海工学

平 井 敦 君 昭和11年東京大学卒 工学博士
東京大学教授 専攻 橋梁工学

土木学会誌広告料金の一部改訂について

創立 50 周年を機会に会員数が激増し、土木学会誌の発行部数は毎月ふえる一方であります。学会ではかねてより広告料金の全面的な改訂を検討中でありましたが、諸般の情勢より判断し今回は表紙関係の広告料金のみを一部改訂し、50 巻 10 号 (40 年 10 月号) より実施させて頂くこととなりました。表紙関係をご利用頂いているスポンサー各位には誠に恐縮ですが何卒よろしくご諒承のほどお願い申し上げます。

土木学会誌広告掲載料金表 (40 年 10 月号より実施)

広 告 位 置	1 ページ当り料金	広 告 位 置	1 ページ当り料金
表 紙 2	(改訂) 54 000 円	色 紙	(据置き) 44 000 円
同 3	(改訂) 48 000 円	後 付	(") 36 000 円
同 4	(改訂) 60 000 円	綴 込	(") 50 000 円

秋のエクスカーション

◀ 9 月 29 日 (水) ~ 30 日 (木) ▶

- 定 員 : 100 人 (バス 2 台)
- 日 程 : 9 月 29 日 8 時 30 分 土木学会集合 ~ 中央道工事 ~ 小仏トンネル工事 ~ 笹子トンネル工事 ~ ぶどう狩 ~ 石和温泉宿泊
9 月 30 日 8 時 30 分 石和温泉発 ~ 御坂トンネル ~ 河口湖 ~ 富士スバルライン ~ 山中湖 ~ 御殿場 ~ 松田 ~ 東名道路工事 ~ 渋谷または代々木 18 時解散
- 参加費 : 3 500 円 (日程内の一切を含む)
- 申込み : 9 月 15 日 (水) までに参加費を添えて、土木学会事業課までお申し込み下さい。お取消しは 9 月 24 日 (金) までにお申し出の場合に限り払戻いたします。

耐震設計講習会

◀ 10 月 18 日 (月) ~ 19 日 (火) ▶

- 会 場 : 発明会館ホール (東京都港区芝西久保明舟町 ~ 地下鉄虎ノ門または都電西久保巴町下車)
- 定 員 : 300 名
- 参加費 : 1 000 円 (テキスト代含む)
- 申込み : 10 月 7 日 (木) までに参加費をそえてお申し込み下さい。参加費とテキスト引換券をお送りします。満員になり次第期限前でも締切りますから、早目にお申し込み下さい。
- プログラム :

10 月 18 日 (月)

9.35 ~ 9.40	開会のあいさつ	学術講演連絡委員会委員長	林 泰 造
9.40 ~ 11.00	地 震	建設省建築研究所	表 俊一郎
11.00 ~ 11.10	休 憩		
11.10 ~ 12.30	水 道 施 設	東京都水道局	中 川 義 徳
12.30 ~ 13.30	休 憩 (昼食)		
13.30 ~ 14.20	設 計 震 度	東京大学生産技術研究所	久 保 慶三郎
14.20 ~ 14.30	休 憩		
14.30 ~ 15.20	地 震 時 水 圧	京都大学工学部	後 藤 尚 男
15.20 ~ 15.30	休 憩		
15.30 ~ 16.20	地震時土圧・土の支持力	国鉄構造物設計事務所	池 田 俊 雄

10 月 19 日 (火)

9.40 ~ 11.00	ダ ム	電源開発 K K	吉 越 盛 次
11.00 ~ 11.10	休 憩		
11.10 ~ 12.30	港 湾 構 造 物	運輸省港湾技術研究所	林 聡
12.30 ~ 13.30	休 憩 (昼食)		
13.30 ~ 14.20	安 定 と 安 全 度	国鉄構造物設計事務所	池 田 康 平

14.20~14.30	休 憩		
14.30~15.20	基礎工、橋台および橋脚	国鉄構造物設計事務所	田 村 浩 一
15.20~15.30	休 憩		
15.30~16.20	各種構造物	国鉄施設局土木課	渋谷 祥 夫
16.20~16.25	閉会のあいさつ		林 泰 造

第2回衛生工学講演討論会論文募集

土木学会衛生工学委員会では昨年より毎年一定のテーマを決めて講演討論会を開催することとし、昨年は11月に“下水の生物処理”(汚泥を含む)と題し、その第1回を開催し、好評を博しましたが、本年度は下記によりその第2回を開催致しますので論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1965年11月7日(日)
3. 会 場：京都大学(電気総合館ホールの予定)
4. 論文内容：①水質汚濁に関する諸問題 ②凝集および沈殿処理
5. 申込方法：9月5日までにB5判用紙1枚に論文題目、研究者氏名(共同研究の場合は講演者に○印をつける)、勤務先、職名、連絡先を明記し、講演概要(400字程度)を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申し込み下さい。
6. 講演原稿：10月10日までに400字詰原稿用紙20枚以内(図、表を含む、写真は印刷不能)にご執筆のうえご提出下さい。
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。
8. 懇 親 会：当日講演討論会終了後懇親会を開催いたします。(会費500円程度)

第12回海岸工学講演会開催

◀ 11月18日(木)~19日(金) ▶

第12回海岸工学講演会はつぎの日程により名古屋市において開催することになりました。今年の講演申込数は40点を数え非常に盛会が予想されますので講演を申し込まれなかった方も多数ご参加下さい。なお、講演集はB5判活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：愛知県中小企業センター(名古屋市中村区堀内町4の31・電 名古屋 56-4121)
2. 講 演 会：1965年11月18日(木)~19日(金)(詳細のプログラムは次号に発表)
3. 見 学 会：1965年11月20日(土)9.00~16.00
名古屋栄町テレビ塔下集合(9.00)~日光川樋門~鍋田干拓~名古屋港高潮防波堤~日本板ガラス四日市工場~四日市港務局~四日市港~名古屋駅前解散(16.00)
4. 見学会参加費：500円(バス代および昼食代)
5. 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目土木学会海岸工学講演会係
注：参加者多数の場合は申込受付順とします。
6. 宿泊案内：日本交通公社名古屋駅前営業所(名古屋市笹島町1の18・電 名古屋 57-7191)
で10月1日より10月20日まで料金前納でクーポン券を用意致しますのでご利用下さい(一泊2食付2000より)。

災害科学に関する第2回合同総合講演会

◀ 10月18日(月)~19日(火) ▶

文部省科学研究費特定研究(災害科学)の災害科学総合研究班(研究代表者 京大名誉教授 理学博士 長谷川万吉氏)が中心となり、(1)災害科学に関する研究成果の発表と、(2)災害科学防災科学の基本問題に関する討議の機会を提供し、(3)あわせて今後の研究連絡をはかる目的をもって、下記要領により総合講演会を開催いたしますので、本学会はこれを後援することになりましたのでふるってご参加下さいますよう、ご案内いたします。

1. 期 日：1965年10月18日(月)9.00~17.00 10月19日(火)9.00~17.00
2. 場 所：東京大学工学部2号館 東京都文京区本郷7丁目
3. 研究発表会：各人講演時間15分

第 8 回地震工学研究発表会開催について

◀ 10 月 20 日 (水) ~ 21 日 (木) ▶

下記により標記研究発表会を開催いたしますから、ふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1965 年 10 月 20 日 (水), 21 日 (木)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 講演題目：

○印は講演者

第 1 日 10 月 20 日 (水)

9.30~9.40	開会挨拶	土木学会耐震工学委員会委員長 那 須 信 治
9.40~10.05 (1)	備讃瀬戸周辺の地震観測 (その 1) 地表岩盤上の地震特性	国鉄鉄道技研 藤 原 俊 郎
10.05~10.30 (2)	地盤の影響を考慮した 1 自由度系の振動について	国鉄鉄道技研 小 林 芳 正
10.30~10.55 (3)	地盤の非線型せん断振動について	京都大学 後 藤 尚 男・○土 岐 憲 三・秋 吉 卓
10.55~11.10	(1)~(3) 討 議	
11.10~12.00 (特別講演)	第 3 回世界地震工学会議報告	電力技研 畑 野 正
12.00~13.00	昼 食	
13.00~13.25 (4)	砂質土の流動化に関する実験的研究	運輸省港湾技研 土 田 肇
13.25~13.50 (5)	シルト質地盤におけるクイの動的支持力	電力技研 堤 一
13.50~14.15 (6)	新潟地震における鉄筋コンクリートぐいの被害の一例	建設省土木研 吉 田 巖
14.15~14.40 (7)	ランダムな地震動に対する深基礎橋脚の応答について	京都大学 後 藤 尚 男・○亀 田 弘 行・秋 吉 卓
14.40~15.00	(4)~(7) 討 議	
15.00~15.25 (8)	軟弱地盤中の杭基礎の耐震設計について	九州大学 小 坪 清 真・○緒 方 信 英
15.25~15.50 (9)	欠板壁の耐震性に関する一考察	運輸省港湾技研○荒 井 秀 夫・林 井 聰 之
15.50~16.15 (10)	鋼桁橋の耐震性に関する研究	運輸省港湾技研 山 本 隆 一・林 井 聰 之 八幡製鉄 宮 島 信 雄・運輸省港湾技研○山 下 生 比 古
16.15~16.30	(8)~(10) 討 議	

第 2 日 10 月 21 日 (木)

9.30~9.55 (11)	新潟地震による港湾構造物震害の現行設計法による解析	運輸省第 2 港建 大 島 実
9.55~10.20 (12)	新潟港における復旧工法について	運輸省第 1 港建 板 尾 純 一
10.20~10.35	(11), (12) 討 議	
10.35~11.00 (13)	土ダムにおける地震観測	東大生産技研○岡 本 舜 三・加 藤 勝 行
11.00~11.25 (14)	フィルダムの地震時振動性状	京都大学 南 敷
11.25~11.50 (15)	フィルタイプダムの振動模型試験 (基本振動試験について)	電源開発 馬 場 恭 平・○長 谷 川 泰 資
11.50~12.15 (16)	起振機による長大土えん堤の振動について	国鉄鉄道技研 生 方 俊 夫
12.15~12.30	(13)~(16) 討 議	
12.30~13.10	昼 食	
13.10~14.10 (特別講演)	長大スパン吊橋建設に対する技術上の諸問題について	建設省土木研 村 上 永 一
14.10~14.35 (17)	境川橋動的解析	東大生産技研 久 保 慶 三 郎・日本道路公団 武 藤 車 彦・日本建設コンサルタント 田 村 重 四 郎
14.35~15.00 (18)	橋軸直角方向水平地震時における天草 4 号橋の挙動について	東洋大学○高 田 孝 信 日本道路公団 栗 原 利 栄・国 広 哲 男・日本建設コンサルタント 田 村 重 四 郎
15.00~15.25 (19)	橋りょう振動試験における桁の波動的現象	国鉄鉄道技研 川 俣 淳
15.25~15.50 (20)	都市高架道路橋の地震時活荷重について	首都高速道路公団 関 潤
15.50~16.15 (21)	空中に露出せる鋼水槽の地震に対する応答	日本工営 林 勝 三 郎
16.15~16.45	(17)~(21) 討 議	
16.45~16.50	閉 会 挨拶	那 須 信 治

4. 講演概要集：400 円 の 予 定，B 5 判 50 ページ程度 必要の方は学会あてお申込み下さいばお送りいたします。
5. 懇 親 会：第 1 日 (10 月 20 日) の終了後下記により懇親会を開催します。ご希望の方は当日会場で受付けますのでお申込み下さい。

時 刻：17.00 時から
場 所：土木学会会議室
会 費：500 円 (当日受付けます)

国際水理学会 (I.A.H.R.) 第 11 回大会報告会 ◀ 10 月 26 日 (火) 16.00~17.30 ▶

水理委員会では 1965 年に Leningrad (U.S.S.R.) で開催されました国際水理学会の第 11 回大会についての報告会を下記のとおり開きます。多数ご参加下さるよう、ご案内申し上げます。

1. 場 所：土木学会図書館講堂
2. 報 告 者：(予定) 本 間 仁 (東京大学) 伊 藤 剛 (電力中央研究所)
林 泰 造 (中央大学) 千 秋 信 一 (電力中央研究所) の各氏

第 10 回 水 理 講 演 会 開 催 に つ い て

第 10 回水理講演会は来年 2 月開催の予定です。講演課題、その他詳細は次号でお知らせいたします。

北海道支部行事案内 (札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内・電話 札幌 83-4161)

研究発表会, 論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会 (2 月下旬予定) に発表の論文または報文をつぎの要領で募集します。

1. 発 表：北海道支部刊行技術資料第 22 号に本印刷掲載
2. 内 容：土木技術論文, 工事報告文
3. 応募方法：応募者は、題名, 所属, 氏名を支部事務局へ口頭または郵便でお申し込みのこと。ただちに原稿執筆要領, 所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切：11 月末日
発表者には薄謝を呈し, 特にすぐれたものには支部奨励賞 (賞状, メダル, 賞金) を贈り表彰する。

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課内・電話 東京 351-4133)

(1) 秋のエキスカーション ▶ 9 月 29 日 (水)~30 日 (木) ▶

本部と共催で行ないます。詳細本部会告 (2 ページ) のとおり。

(2) 川 俣 ダ ム 見 学 会 ▶ 10 月 12 日 (火)~13 日 (水) ▶

1. 定 員：50 人
2. 日 程：10 月 12 日 7 時 45 分 東武浅草駅集合~(8 時発デラックス特急)~鬼怒川温泉~(バス)~川俣ダム~川俣温泉泊
10 月 13 日 9 時 30 分 川俣温泉発~(バス)~五十里ダム~(バス)~鬼怒川温泉~(12 時発デラックス特急)~18 時 45 分 東武浅草着解散
3. 参 加 費：3 500 円 (日程内の一切を含む)
4. 申 込 み：9 月 15 日 (水) までに参加書を添えて, 土木学会事業課までお申し込み下さい。お取消しは 9 月 24 日 (金) までに申し出の場合に限り払戻しいたします。

(3) 学生のための映画会 (第 9 回) ▶ 10 月 16 日 (土) 13.00~ ▶

第 9 回学生のための映画会は山梨県甲府市において開催いたします。地元学生諸君のほか一般会員のご観賞をおすすめします。

1. 場 所：未 定
2. 上映映画：未 定
3. 参 加 費：: 無料

中部支部行事案内(名古屋市南区外堀町 愛知県土木部道路建設課内・電 名古屋 96-2111)

昭和 40 年度中部支部研究発表会

◀ 10 月 22 日 (金) ▶

1. 場 所：名古屋大学工学部第 3 号館第 32, 33 番講義室

○市電 76 号(名古屋駅前より) } 名大行に乘車, 終点にて下車
131 号(栄町より)

○地下鉄 本山にて下車, 南東へ約 1.5 km, 本山, 名大間バス連絡あり

2. プログラム：

特別講演 (13.00-13.55)

中部地域開発への期待

講演者未定

一般研究発表題目

第 1 会場 (32 番講義室)

- 1-1 (9.00- 9.15) 長大橋梁の小型電子計算機による解析法について 名大工学部 中 川 建 治
- 1-2 (9.15- 9.30) アーチのたわみ安定性について (II) 名大工学部 福 本 晴 士・金大工学部○吉 田 博
- 1-3 (9.30- 9.45) 双設圧力トンネルの応力状態について
中部電力 沢 田 周 次・比企野 昭 一・名大工学部○川 本 脩 万・名大大学院 高 橋 由 行
- 1-4 (9.45-10.00) 光弾性実験法による塑性領域の解析について
名大工学部 川 本 脩 万・福 本 晴 士・名大大学院○宇 佐 美 勉・藤 原 稔
- 1-5 (10.00-10.15) テーパーのいちじるしくついたアーチの剛結部に対する一つの考察
名古屋工業大学○松 浦 聖・名古屋市 福 岡 祥 次
- 1-6 (10.15-10.30) Ripple Web Girder について
名大工学部 島 田 静 雄・名大大学院○山 本 邦 夫・水 野 一 男
- 1-7 (10.40-10.55) 地下鉄構造物用溶接鋼管柱の強度実験について 名古屋市交通局 武 内 一 郎
- 1-8 (10.55-11.10) Steel Grating 橋床板の疲労強度について
名大工学部 菊 池 洋 一・名大工学部○鈴 木 悦 男・大具興産 松 浦 正 人
- 1-9 (11.10-11.25) 豊浜大橋の架換工事について 三重県土木部 佐々木 隆 男
- 1-10 (11.25-11.40) 温度変化を受けるコンクリートの施工に関する 2, 3 の研究 名古屋工業大学 吉 田 弥 智
- 1-11 (11.40-11.55) 高分子材料を構造用材料として使用する場合の問題点について
金沢大工学部○喜 内 敏・小 堀 為 雄・吉 田 博・中 村 昭 英
- 1-12 (11.55-12.10) 重力衝撃を受ける鋼線の応力と歪の実験報告 岐阜工高専 菅 野 一

屋食休憩 (12.10-13.00)

- 1-13 (14.00-14.20) 粘性土のときほぐしに関する基礎的考察 (第 1 報) 金沢大工学部 柳 場 重 正
- 1-14 (14.20-14.40) 土圧計の検定に関する 2, 3 の考察 名大工学部 古 川 清
- 1-15 (14.40-15.00) 建築統による CBR 値の簡易測定例 岐阜大工学部 角 田 敏 雄○水 谷 重 喜
- 1-16 (15.00-15.20) 新潟港山下岸壁における土圧ならびにタイロッドの張力の計測 名大工学部 近 藤 昌 泰
- 1-17 (15.30-15.50) 武豊火力発電所軟弱地盤改良試験工事報告 (ペーパードレインによる大気圧工法)
中部電力 佐 塚 迪 彦○菅 谷 義 信
- 1-18 (15.50-16.10) 特殊隧道掘削工法について 鉄道建設公団 平 尾 光 慶
- 1-19 (16.10-16.30) 西知多産業道路工事について 愛知県土木部 柳 瀬 茂

第 2 会場 (33 番講義室)

- 2-1 (9.00- 9.15) 天竜川上流部の斜面浸透について 名大工学部 西 畑 勇 夫・名大大学院○野 村 正 徳
- 2-2 (9.15- 9.30) 豊川放水水路の工事について 中部地方建設局 青 木 清
- 2-3 (9.30- 9.45) 帯床工の間隔について 静岡県土木部 渡 辺 孝
- 2-4 (9.45-10.00) 尾添川の隔雪流出について 金沢大工学部○高 敏 郎・東大大学院 吉 野 文 雄
- 2-5 (10.00-10.15) 神通川における塩水楔について 北陸電力 稲 松 敏 夫
- 2-6 (10.15-10.30) 急流河川の粗度係数について 名古屋工業大学 細 井 正 延
- 2-7 (10.40-10.55) 不等流計算における差分の選び方について 名大工学部 足 立 昭 平・名大大学院○伊 藤 紘 慶
- 2-8 (10.55-11.10) 静水中への河川流出水の拡散について 名大工学部 植 木 享・名大大学院○竹 内 宏
- 2-9 (11.10-11.25) 波の反射率に関する研究 名大工学部 植 木 享
- 2-10 (11.25-11.40) 海岸堤防に関する 2, 3 の実験考察 名大工学部 高 田 彰
- 2-11 (11.40-11.55) 海岸堤防への波のうちあげについて 名古屋工業大学 細 井 正 延・名大大学院○石 田 昭
- 2-12 (11.55-12.10) 急速濾過池の濾層の閉塞について 名古屋工業大学 酒 井 清 太郎

屋食休憩 (12.10-13.00)

- 2-13 (14.00-14.20) ネットワーク上の交通流解析に関する基礎的考察 岐阜大学工学部 加 藤 晃
- 2-14 (14.20-14.40) 将来の交通需要量の予測と交通施設別分担率 名大工学部 毛 利 正 光○川 西 勲
- 2-15 (14.40-15.00) 中部地方における貨物輸送の分析 岐阜大工学部 加 藤 晃・岐阜工高専○水 野 弘
- 2-16 (15.00-15.20) PERT 手法によるダム工事計画について 名大工学部 毛 利 正 光・名大大学院○杉 野 尚 夫
- 2-17 (15.30-15.50) 道路工事工のプライオリティーについて 中部地方建設局○松 井 宏 一・宮 内 彬
- 2-18 (15.50-16.10) 多差路交差点における諸問題 名大工学部 毛 利 正 光・名大大学院○本 多 義 明
- 2-19 (16.10-16.30) 木枕木における犬くぎの支持機構について 岐阜工高専 渡 部 卓 郎

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電 大阪 (981) 2510・振替口座 大阪 82599 番)

(1) 和歌山の開発についての講演会

◀ 9月14日(火) 13.00~17.00 ▶

共催：和歌山県建設技術協会・土木学会関西支部

1. 場 所：和歌山城内・県立美術館 電 和歌山(3) 2467

和歌山市1番丁1 国鉄東和歌山駅下車 市電・バス(新和歌浦行)公園前下車

2. 題目と講師：

13.10~14.10 ①和歌山県の長期開発計画について 和歌山大学経済学部教授 経博 吉田昇三
14.10~15.00 ②和歌山県の埋立事業について 和歌山県企業局建設課長 岡根義久
15.00~15.50 ③有田川の総合開発事業について 和歌山県有田川総合開発事業建設事務所長 小川豊一

3. 映 画：16.00~17.00 ①紀勢線全通(16mm カラー 28分) ②名神高速道路工事(カラー 16mm 30分)

4. 定 員：250名

5. 聴 講：無料，来聴歓迎

(2) ニュータウン建設と市街地再開発に関する講演会

◀ 10月13日(水) 13.00~16.30 ▶

1. 場 所：大阪科学技術センター 4階講習会室 401 電 大阪(443) 5321

大阪市西区靱1丁目118 靱公園北東隅 地下鉄本町駅北西約300m

2. 題目と講師：

13.00~13.40 ①欧米諸国における都市再開発の方向と現状 大阪市総合計画局計画部第三課長 上村正人
13.40~14.20 ②近畿圏整備における大都市の再開発について 近畿圏整備本部大阪事務所調査官 藤野良幸
14.20~15.00 ③大阪府下におけるニュータウン計画について 大阪府土木部次長 石橋金一郎
15.10~15.50 ④市街地改造事業とその問題点について 大阪市区画整理局次長 山田忠顕
15.50~16.30 ⑤京阪神地区における国鉄新長期計画について 国鉄大阪工務局次長 岡部達郎

3. 定 員：160名

4. 聴 講：無料，来聴歓迎

(3) 最近の鋼構造に関する講習会

◀ 10月26日(火)~27日(水) ▶

共催：日本材料学会関西支部・日本建築学会近畿支部・土質工学会関西支部・日本鋼構造協会・土木学会関西支部・その他3学協会

鋼構造物に関する最近の基本的な傾向を広い視野に立って多数の権威者が解説されますので，ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

1. 場 所：大阪科学技術センター講習会室 401 電 大阪(443) 5321

大阪市西区靱1丁目118 靱公園北東隅 地下鉄本町駅北西約300m

2. 題目と講師

第1日(10月26日9時~17時)

①鋼材の溶接性と溶接継手 大阪大学教授 渡辺正紀
②鋼管構造継手 大阪大学教授 鷲尾健三
③長大橋梁構造の趨勢 京都大学教授 小西一郎
④H型鋼の接合構造法 神戸大学教授 伴 潔
⑤阪神高速道路におけるS字橋 阪神高速道路公団 岩本幸二
同 松永 朗

第2日(10月27日9時~17時)

⑥最近の鋼材の特性，特に高張力鋼について 京都大学教授 田村今男
⑦ボルト，継手構造 国鉄構造物設計事務所 田島二郎
⑧超高層建築構造の趨勢 名古屋大学教授 横尾義貴
⑨鋼杭基礎構造 京都大学教授 後藤尚男
⑩広梁間構造 大阪建築事務所長 高橋慶夫

3. 定 員：160名

4. 参加費：共催学協会会員 2 500 円（非会員 3 500 円，テキスト代 1 000 円を含む）
5. 申込期限：1965 年 10 月 15 日（金）
6. 申込方法：所属学会名，氏名，勤務先，連絡先を明記し参加費を添えて 10 月 15 日までに日本材料学会関西支部（大阪市西区
靱 1—118 大阪科学技術センター内，電 大阪（443）0478，0528）へ申し込んで下さい。ただし定員 160 名で締切
ります。

（付）テキスト頒布について

プレートガーダーの耐力に関する理論と実験（関西橋梁鉄骨溶接研究会刊行）頒価 1 000 円 送料 100 円
構 造 工 学（土木学会関西支部刊行）頒価 700 円 送料 100 円
都市環境衛生（ " ） " 450 円 " 70 円
溶 接 構 造（ " ） " 400 円 " 70 円
上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい（会員テキスト割引券をご利用下さい）。

第 12 回大河内賞募集について

財団法人 大河内記念会事務局より第 12 回大河内賞について推薦依頼がありましたので詳細は土木学会総務課へお問合せ下さい。

大河内賞の種類：①大河内記念賞（生産工学上すぐれた 独創的研究成果をあげ学術の進歩に多大の貢献をした個人またはグループに対する賞）

本賞 賞状 副賞 賞牌および賞金 1 件 100 万円

②大河内記念技術賞（生産工学の研究を行ないすぐれた 発明または 考察により産業上に顕著な業績をあげた研究者あるいは研究者グループに対する賞）

本賞 賞状 副賞 賞牌および賞金 1 件 20 万円

③大河内記念生産賞（生産工学の研究を行ないすぐれた 発明または 考察により産業上に顕著な業績をあげた事業体に対する賞）

本賞 賞状 副賞 賞牌

東洋レーヨン科学技術賞候補について

東洋レーヨン科学振興会より第 6 回（昭和 40 年度）科学技術賞候補について推薦依頼がありましたので詳細は土木学会総務課へお問合せ下さい。

8 学 会 互 報 欄

◀日本建築学会（東京都中央区銀座 3 の 1 電 東京 535—6511）

日本建築学会近畿大会（10 月 9 日（土）～10 月 12 日（火）神戸大学を中心として学術講演会・研究協議会・特別講演会・特別報告会等）

◀電 気 学 会（東京都千代田区有楽町 1～3 電 東京 201—0983）

「原子力計測の現状と問題点」講演会（9 月 18 日（土）日本電気工業会講堂・東京千代田区・参加無料）

日本工学会講演会

◀ 9 月 25 日（土）14.00～16.00 ▶

1. 演 題：宇宙研究の現状 東京大学宇宙航空研究所 糸 川 英 夫
2. 会 場：発明会館ホール（東京都港区芝西久保明舟町 17）
3. そ の 他：映画 宇宙をさぐる，外